

平成23年11月分電力需給状況

需要の概要

平成23年11月分の販売電力量は、20億9千7百万kWh時、前年比 98.5%となった。

〔需要の内訳〕

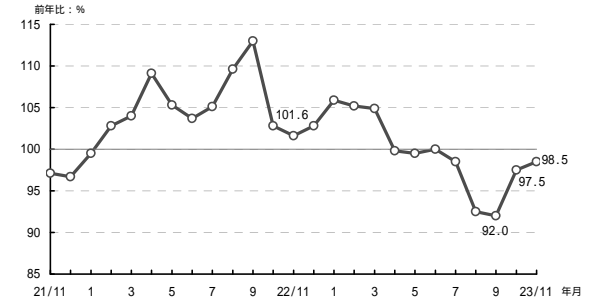
家庭用などの「電灯」は、11月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房需要の減や、東日本大震災以降の全国的な節電意識の高まりなどから、前年比 93.8%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様、気温要因や節電の影響などから、前年比 97.5%となった。

産業用の「大口電力」は、化学が前年を下回ったが、繊維、紙・パルプ、機械などが前年を上回り、前年比 104.1%となった。

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	657	93.8
	電 力	115	93.7
	計	772	93.8
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	452	97.5
	産業用電力	873	103.5
	うち大口電力	(695)	(104.1)
計		1,325	101.4
販売電力量 計		2,097	98.5
融 通		287	67.5

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

	電力量	前年比		
		23/11月	23/10月	23/9月
織 維	39	143.3	104.2	92.7
紙・パルプ	132	113.0	113.0	106.5
化 学	94	93.9	95.5	95.1
鉄 鋼	82	100.9	91.7	82.3
機 械	157	102.8	101.8	100.9
そ の 他	191	100.7	98.9	97.7
合 計	695	104.1	100.9	98.0

(参考2) 4県都平均気温

	23/10月				23/11月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実 績	19.8	20.2	18.7	19.5	18.7	15.9	11.7
平年差	0.9	1.0	1.9	0.7	3.3	2.6	0.3	2.0
前年差	1.8	0.6	0.9	0.5	4.4	2.8	0.1	2.3

供給の概要

- 原子力は、伊方3号機および1号機の運転再開遅れによる稼働減により、前年比 31.7%となった。
- 水力は、豊水であったため、前年比 174.9%となった。
- 火力は、原子力の減少などにより、前年比 140.0%となった。

		電力量	前年比	備 考
原子力	(15)	408	31.7	出水率 144.5% (22年11月出水率 59.5%)
水力	(8)	219	174.9	
火力	(76)	2,014	140.0	
新エネ	(1)	32	106.2	
発電電計	(100)	2,672	92.8	
その他		1		
供 給 計		2,673	92.9	

注1. 新エネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(98.6)	479	(95.1)	328	(100.3)	738	(97.9)	552

注.()内は前年比